

## 2010年度 日本文化人類学会 第2回 理事会 議事録(案)

日時：2010年6月12日(土) 10:40~11:30

会場：立教大学新座キャンパス 7号館3階アカデミックホール

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、岡田、鏡味、栗田、栗本、桑山、清水、  
関根(康)、高倉、棚橋、玉置、中川、中谷、名和、三尾、森山、渡辺(公)  
委任状提出：小田、佐々木

### 〔承認事項〕

1. 前回(2010年度第1回)理事会議事録を承認。
2. 新入会員(11名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・ SPARC Japan より、SPARC Japan ニュースレターの日本の学術誌紹介の企画のため、本学会の学会誌に関するアンケートの回答依頼があったが、新理事会発足直後の時期であるため、現段階では回答できない旨先方に伝えたところ、来年同様の依頼を行ないたいとの連絡があったことを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・ 学会誌の販売委託をしている丸善株式会社から引取り依頼のあった学会誌バックナンバーについて、前期理事会で今研究大会会場での販売が決定されていること、販売価格について総務会で検討した結果一律500円とし、残部については廃棄処分とすることを報告。
3. 広報理事報告
  - ・ 2010年10月1日開催予定の人類学関連学会協議会合同シンポジウム「加齢をめぐって」(主催：日本民俗学会)の本学会パネラーとして藤田真理子会員(広島大学)を推薦することを報告。
4. 各種委員会報告
  - ・ 民博連携委員会：6月9日に国立民族学博物館で渡邊会長候補、須藤健一館長の出席の上、委員会が開催されたこと、包括的協定に向けて民博側と交渉を進めたことを報告。
  - ・ 研究グループ制導入検討委員会：6月12日に第1回委員会を開催予定であることを報告。
  - ・ 学会歴史委員会：6月13日に第1回委員会を開催予定であることを報告。
  - ・ 地区研究懇談会担当委員：各地区の開催予定を報告。
  - ・ 文化人類学教育特別委員会：フィールドワーク教育用の副読本の刊行準備が順調に進んでいることを報告。また、若手研究者支援に向けて夏休み前に委員会を開催し、具体的な案を絞り込んでいく予定であることを報告。

### 〔審議事項〕

1. 2010年度事業計画案について
  - ・ 綾部庶務理事より、理事会メーリングリストにて配信済みの2010年度事業計画案について修正点を中心に説明があり、一部文言を修正の上、承認された。

2. 2010年度予算案について
  - ・ 森山会計理事より、2010年度予算案について前回理事会以降の修正点を中心に説明があり、承認された。
3. 各種委員会の構成
  - ・ 綾部庶務理事より、前回理事会以降委員の追加があった委員会について説明があり、委員追加が承認された。
4. 会員連絡用メーリングリスト（JASCA-INFO）の運用方法について
  - ・ 栗田広報理事より、会員連絡用メーリングリストの運用内規の改正案について資料に基づき説明があり、一部文言を修正の上、承認された。
  - ・ 会員連絡用メーリングリストの運用内規の改正に伴い、JASCA-INFO に関する HP 上の文言の修正を行なうことが承認された。
5. 若手研究者支援事業および将来計画基金について
  - ・ 渡邊会長候補より、学会として若手研究者支援に積極的に取り組んでいく方針であり、そのために波平基金を積極的に活用していく予定であることについて説明があり、承認された。
6. 民博連携事業について
  - ・ 渡邊会長候補より、6月9日に開催された国立民族学博物館の須藤健一館長との会談において、包括的協定と運用内規の制定について合意が得られたので、今年度は現協定をそのまま運用し、来年度以降新たな協定を結ぶ予定であることについて説明があり、承認された。
7. その他
  - ・ 学会歴史委員会が中心となって整理を進めてきた学会歴史資料の一部である映像記録の公開に関し、遺族・関係者との契約条項に「学会の研究に資する」との一文があるため、一般公開に際してはこの部分の変更を行なう必要があることが報告され、引き続き学会歴史委員会を中心に検討を進めることとした。

以上